

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 3月 17日

【評価実施概要】

事業所番号	0175300250		
法人名	有限会社ケアサポートますむら		
事業所名	グループホームファミリーみどり		
所在地	網走市緑町10番6号 (電話) 0152-44-6282		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成19年10月25日	評価確定日	平成20年3月17日

【情報提供票より】(19年10月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)12年8月1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	11人	常勤	8人, 非常勤 3人, 常勤換算 9.5人

(2) 建物概要

建物構造	木造		
	2階建ての	1階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	24,000円	その他の経費(月額)	15,000~18,000円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,400円		

(4) 利用者の概要(10月8日現在)

利用者人数	9名	男性	0名	女性	9名
要介護1	0	要介護2	5		
要介護3	2	要介護4	1		
要介護5	1	要支援2	0		
年齢	平均 79.6歳	最低	73歳	最高	90歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	道立向陽ヶ丘病院・網走脳神経外科リハビリテーション病院
---------	-----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は住宅街に立地し、日当たりが良くて明るく清潔感が漂っている。職員は積極的に外部研修に参加し、更なるケアサービスの質の向上を目指して日々取り組んでいる。また、利用者への対応は穏やかであり、落ち着いた雰囲気の中で利用者は生活している。管理者関係者が事務長として事業所に居住しており、利用者本人・家族の安心に繋がっている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での課題であった介護計画の記録方法について検討し、改善に取り組んでいる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	日々のケアサービスを振り返りながら自己評価に取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議において事業所の運営状況や外部評価の取り組み状況等について報告し、意見交換を行っている。また、地域からの協力が得られるような体制が築かれつつある状況である。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	職員は日頃から家族とコミュニケーションを密に取り、家族が気軽に意見・苦情等を話しやすい雰囲気づくりに努めている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内の行事への参加や公園・公共施設・図書館等の利用、また、ボランティアの受け入れなど、地域との交流に努めている。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「ゆったりと・一緒に・楽しく・その人らしく・豊かに」という事業所独自の理念をつくりあげ、事業所内の見やすい場所に掲示している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎月のミーティング時に理念を確認し、日々のケアサービスに取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会の行事への参加やボランティアの受け入れ等により、地域との交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義を理解し、全職員で自己評価に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>利用者家族・ボランティア・地域住民・看護師等を構成員として会議を開催し、事業所の運営状況や外部評価の結果等についての報告を行っている。また、会議を通じて地域からの協力が徐々に得られつつある。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>管理者は地域包括支援センター運営委員会や地域密着型サービス運営委員会のメンバーであり、市の担当者と連絡を取る機会が多く、ともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族来訪時に職員は積極的に声かけをし、生活記録をもとに利用者の健康状態・金銭管理の状況等を伝えている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>重要事項説明書に内部・外部の苦情相談窓口を明示している。また、職員は日頃から家族が気軽に意見・希望等を伝えやすいような雰囲気づくりに努めている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の離職が少ないとともに、また、新規採用する際に適任者を選出し、利用者へのダメージを防ぐよう配慮している。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	定期的に内部・外部研修に参加する機会があり、職員は積極的に受講している。		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	管理者は市のグループホーム部会の代表者を務めており、職員研修の開催や情報交換を通じてサービスの質の向上に取り組んでいる。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	アセスメントシートを活用し、利用者が安心して納得してから入居できるよう家族と相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	職員は「ゆったりと・一緒に・楽しく・その人らしく・豊かに」という理念を基に、利用者がその人らしく生活できるよう、場面づくりや声かけに努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	職員は利用者との会話や行動・表情等からも思いや意向の把握に努め、その人らしい生活となるよう支援している。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	利用者本人・家族の意向を踏まえ、職員や看護師等も交えて話し合い、意見を反映した介護計画を作成している。また、作成後は利用者と家族の同意を得ている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	3ヶ月の見直しのほか、利用者の状態変化に応じてそのつど話し合い、現状に即した計画を作成している。		
3.多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	通院の送迎や外出時の付き添い・介護保険申請の代行など、柔軟な支援を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	利用者・家族が希望するかかりつけ医への受診支援を行っており、受診後は結果を家族に報告している。		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	重度化や終末期の指針について家族に説明しているが、利用者の状態変化が生じた場合について話し合いを重ねるまでには至っていない。	○	今後、定期的に家族を含めて話し合いを重ね、方針について確認や再検討をすることが期待される。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	全職員が守秘義務厳守についての同意書を交わしており、ミーティングの際に確認する等し、利用者の誇りを損ねることのない対応の徹底が図られている。		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	職員は利用者の体調を考慮し、一人ひとりの気持ちを尊重して個別性のある支援を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの力に応じて調理や後片付けなどを職員と一緒にやっている。また、利用者本人が作ったり選んで購入した食器を使用するなど、食事が楽しみになるよう工夫している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週に2回の入浴支援を行っているほか、希望に応じて毎日シャワー浴が可能である。	○	今後、浴室のトイレにカーテン等を掛けることが期待される。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	得意分野に応じて一人ひとりの力を発揮できるような役割ごとや、書道や大正琴などの楽しみごとの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候や利用者の体調等を考慮しながら、散歩・ドライブ・公園や図書館への外出など、利用者の希望に応じた外出支援を行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけておらず、利用者の自由な暮らしを支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に1回以上避難訓練を実施しており、事業所内には緊急時の通報の手順等を掲示している。また、地域からの協力が得られるような体制が築かれており、緊急時の対応も整えられている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取量など、一人ひとりの健康状態に応じて支援している。また、調理方法にも工夫がなされ、利用者の年齢等も考慮した食事内容となっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は明るく清潔感が漂っている。壁には行事の写真が飾られており、季節感を感じられるよう配慮されている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には利用者が使い慣れたテレビ・仏壇・習字・大正琴などが持ち込まれており、本人が居心地良く過ごせるような空間になっている。		

 は、重点項目。